

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者が地域に自分の出番を創る製革学習
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ぱーむぼいす (0269-67-0415)
事業区分	(3)教育、文化の振興 (6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	834,291 円 (うち支援金 : 667,000 円)

事業内容

社会的自立に困難さを持つ若者が、鹿革鞣しの研究・実習を通じ技術的・精神的にこの地域での自分の出番を創るためのきっかけとした。

- ① 生徒による製革技術の習得
鹿革 10 枚を製作した。
- ② 事業展開の枠組み作り
(A) 長野県立大学ソーシャルイノベーション創出センターの教員と革製品の制作や販売につなげていくための枠組み (スキーム) 作りに取り組んだ。(対面指導 8/31、12/24 計 2 回)
- (B) 地域づくり NPO 団体と革製品のマーケティングを視野に入れたモニタリングを開催した。(10/24、12/7、1/26 計 3 回)
- (C) 革製品制作に伴うブランディングデザインを作成した。



【地域の講師から学ぶ】

【目標・ねらい】

- ① 生徒による製革技術の習得
- ② 事業展開の枠組み作り
- ③ 地域づくり NPO 団体とのモニタリング
- ④ ブランディングデザイン作成

事業効果

- ① 生徒による製革技術の習得
製革技術伝達講習、共同研究
 - ・皮なめし経験者(飯山市林務課職員)1 回
 - ・染色、縫製経験者(長野市)3 回
 - ・皮なめし作業研究者(木島平村・移住者)5 回
 鹿革 10 枚、熊革 3 枚製作
- ② 今後の事業展開の枠組み作り
(A) 長野県立大学ソーシャルイノベーション創出センター秋葉先生指導による事業スキーム作成
- (B) 地域の人を巻き込んだモニタリング 3 回開催
- (C) 事業パンフレット、ロゴデザイン作成

※自己評価 【A】

【理由】

- ① 製革学習を通して自信をもって人とかかわるようになり、就労につながった。
- ② 様々な人たちとのつながりができ、多様な協力者を得た。

今後の取り組み

- ① 事業スキーム作りの中で示された SDGs の方向性をもってローカルナチュラルな革づくりを目指す。地域でとれる自然素材を使った鞣し工法の開発を進める。
- ② 地域づくりの NPO のつながりから多様な人たちとつながった。鹿革に関わって地域の多様な人たちのつながりをつくり、持続可能な事業を目指す。
- ③ 事業パンフレットや事業のロゴができた。仲間づくりを多方面にひろげ若者の社会とのつながりを創っていく
- ④ 鹿皮の鞣しに携わっていた生徒が周囲とのつながりを広げ、意欲的に取り組み、自信を持つようになり、アルバイトに挑戦できるようになった。さらに広げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある